

# 幼 兒 教 育

第 二 十 二 卷 第 二 號

大 正 十 一 年 二 月 十 五 日 發 行

## 目 次

就任の辭……………	茨木清次郎
澄宮殿下と我が幼稚園……………	宇佐美 けい子
子供向き雑節句の料理……………	手塚かね子
大阪市幼稚園動植物育養方針……………	神戸保育會
幼兒の躰方……………	千葉 秀子
ビヨン太郎歌留多に就て……………	野尻てつ
膳先生銅像除幕式の日……………	楓 二子
たゞ一言……………	膳 まき子
淺草會館の諸事業……………	矢島保高
會 報……………	
フレーベル巡禮……………	倉橋惣三

日 本 幼 稚 園 協 會

## 會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前前は初め御入會の時の御名前と同じにして頂きたう存じます。例之は初め幼稚園名にて御入會になり、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様に願上ます。整理上甚だ煩雜致しますから。

○會費未納は會計整理の上に甚だ困難致しますから確實に御納付下さいまし。向後萬一御不納久しきに亙ります場合は乍遺憾雜誌發送を停止致します。

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願ひます。

○萬一本誌不著等のことがございましたら直に御一報煩したう存じます。

### 本誌定價

一冊(郵税共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢  
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割増)

### 購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正十一年二月十二日印刷

大正十一年二月十五日發行

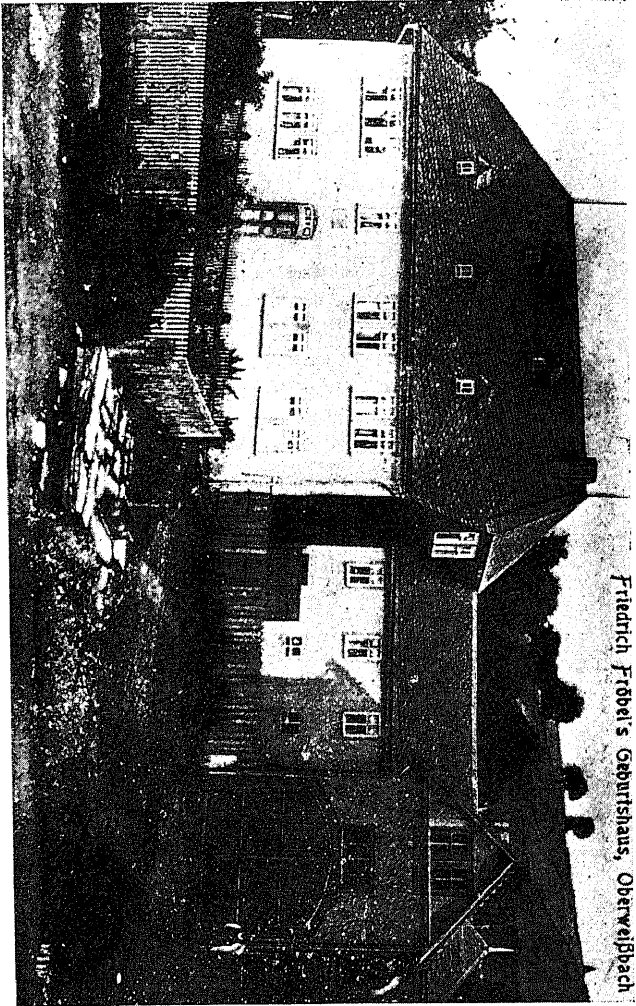
東京市外千駄ヶ谷原宿三百四番地  
編輯兼發行者 黒 瀬 豐

東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷者 柴 山 則 常

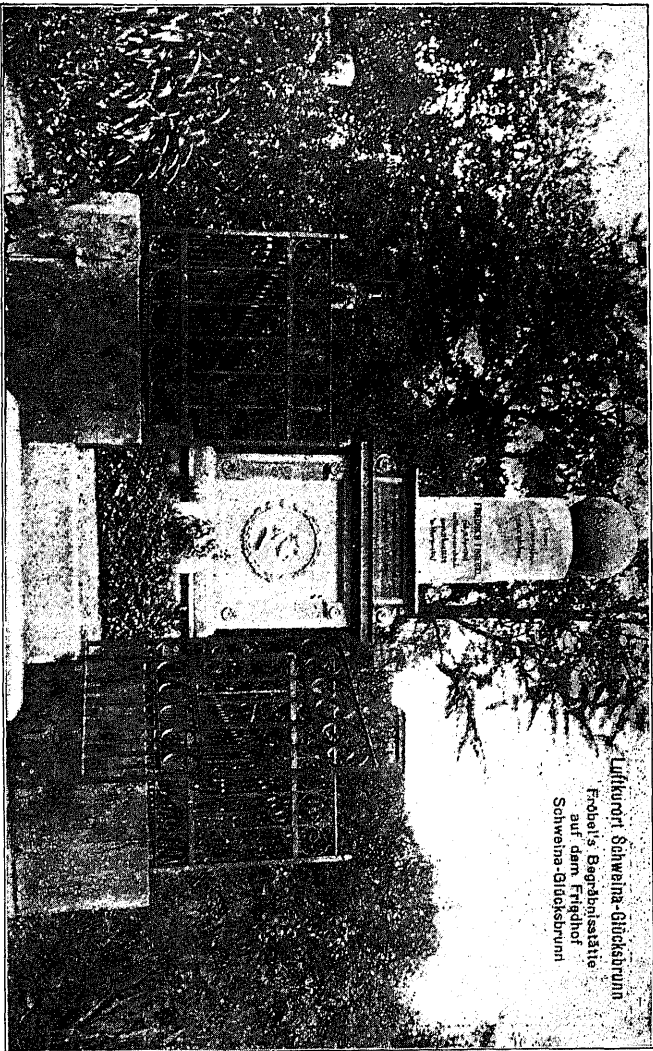
東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷所 會社 杏 林 舍

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會



家の生誕ルベールフ  
(ハッバスタイルマーホ)



Luftkurort Schweina-Glücksbrunn  
Frohbel's Begräbnisstätte  
auf dem Friedhof  
Schweina-Glücksbrunn

墓のルビュー  
(フイグエ)

# 幼 兒 教 育

第二十二卷  
第二號

大正十一年二月十五日發行

## 就任の辭

今回、私は、不肖の身を以て、はからずも此處に、日本幼稚園協會長の役目に當る事となりました。菲才淺學、もとより其の器ではないのでありますが、今度、職を東京女子高等師範學校に奉ずるに至りました關係上、これをお受けする事と致したのであります。思ふに、我國に於ける文化の進みゆく勢に伴ふて、教育は其諸方面にわたつて、ますます盛大になり、幼兒の教育に就いても、日に日に多く注意を拂ふべき時となつたのであります。此處に、世界大戰以來、列強は、教育に對する自覺を熾烈にして、國民實力の向上に銳意努力して居るの時に際しましては、更らに、我國に於ける幼兒の教育は、誠に大切と云はざるを得ないのであります。これ、申すま

日本幼稚園協會會長 茨 木 清 次 郎

でもなく、幼兒教育は、まさに其の人の生涯の發達の基礎であつて、又、實に、國民教育の素地を與ふるものと云ふべきに依るのであります。

近時、幼兒の教育は、現に其の歩を進めて、進歩改善の機運、誠に慶すべき事でありますが、凡そ保育の事たる、みだりに其の效を急ぐ時は、かの所謂宋人の苗を掘んじて槁らしたるが如きの誹あり、而も亦、いたづらに個性のなす所に捨て、は、多く放任に流れて、これを育成する所以ではない。幼兒心身の發育にかんがみ、二者其の弊に陥らず、陶冶よろしきを得て、これを適度に行ふは、この種の教育の最も研究を要する所であります。この内容は、即ち、幼兒生活の心理に環境に、諸種の題材となり、

或は兒童保護の聲となつて、世の注意と同情とを喚起しつゝはありますが、今日、全國幼稚園の數と諸外國に於ける幼兒教育の情況とを考へて見ますれば、今後我國幼稚園の進歩發達は、其の普及に於ても、はた實質の向上についても、たゞに教育爲政者の力に頼るべきもの、すこぶる多きのみならず、いやしくも、我國幼兒教育の實際にたづさはるものは、前途ますます奮勵努力の一語あるを感ずるのみであつて、日本幼稚園協會の使命、又輕しとはせぬのであります、私は今この重大なる責務に對して、未だ何等の經驗もなく、たゞ自ら足らざるを恐るゝのであります、然しながら、幸に、本會關係各位の御同情により、驚鈍をつくして、御委託にそむかぬやう、努めたいと思ふのであります。何とぞ、各位が一致共同の力を以て、御援助あらん事を深く乞ひ願ふ次第であります。御挨拶までに一言申し述べます。

○宣傳に就て一寸申上ります。

全國一齊の大宣傳を三月頃に舉行する事になつて居りましたが協會の方でも種々協議をなし又調査など致しましたが三月頃にはとても間にあひませんから五月頃に致したいと存じます。就いては方法や調査の結果を三月號の雜誌に掲載いたします故そのおつもりで御準備下さいませ。

○倉橋主幹の歸朝

ながらく外遊中の本會主幹倉橋惣三氏はいよいよ来る三月九日神戸入港の熱田丸にて歸朝されます。東京へお著になる日はまだ確定いたしません。

○二月常會

日本幼稚園協會二月常會は臨時休會と致します。

## 澄宮殿下と我が幼稚園

女子學習院幼稚園 宇佐美 ケイ子

澄宮殿下には、昨年十月十一日に始めて、私共の幼稚園に成らせられました。十二月十一日まで、二ヶ月の間、毎朝九時から十一時まで、一日の御缺席もなく成らせられました。唯今は葉山御用邸へ御遊覧でいらせられました。三月末に東京へ御歸り遊ばされて、直ぐ學習院初等科へ御入學遊ばされますから、こちらにはもう御成りのない事と存じ上げて居ります。

雲の上深きあたりの方々の御事を、新聞雜誌で拜見して居りますと、これは少し褒め方が大げさではないか等と、恐れ多い事でございますが、思はぬ事もないではありませんが、澄宮殿下に今度お接し申上げてから、私共民間で承つて居る御事以上に、實に聞きしにもまさる、御立派な宮様でいらせられる事がわかりました。只今宮殿下には、満六歳、おん數へ年八歳にならせられます。實に、日本の幼兒達の御模範とも仰ぐべき御方でいらせられます。

一昨年頃より、澄宮殿下の御學友として、適當な兒童を選抜するやうにとの御命令がございましたので、伯爵令息小笠原忠幸、伯爵令息前田利信、子爵令息有馬丕善の三人を選び、毎週御殿に參上させて、御學友として居りました。それ故、幼稚園へ成らせられた時も、この三人を殿下の御側の席を取らせて、お親しみを多くして居りましたが、殿下には直ぐとお馴れになりました。少しも御窮屈にはお感じにならないやうにお見受け申しました。

澄宮殿下には、幼稚園に於かせられましたは、全く他の兒童と同一の御扱ひを申し上げて居りました。たゞ朝御成りの時と、夕御歸りの時は、私共職員や園児が列をつくつて、お迎へ、御見送りを申上げるどころだけが、違つて居ります。朝九時だから、もう御成りだらうと、私共がお待ち申上げますと、雨の日も風の日も、一分の御時間さへたがへず、水兵服のやうな、いと、御可愛らしい御洋装で、御活

潑に玄關を御のぼりになる御様子、今でも目の前にちらついて居ります。此頃は、私共も園兒も、宮殿下がお成りがなくて誠にさびしい、もう一度一日でもよいからお成りがあればいい、とひまさへあれば、御噂申上げて居ります。

澄宮殿下が御勉強遊ばされた級は、紅葉の組と申しまして、この四月に小學部へ進む、最上級でございました。(私共の幼稚園には、男女兒合せて九十七名、紅葉の組及び藤の組が最上級、櫻の組及び菊の組が下級となつてゐます)。私共も、その級にはいつて、宮殿下の御様子を拜見して居りますと、他の兒童よりも遙かに、御手先が御器用でいらせられます。例へば、きざみものを遊ばす時でも、鉄の御使用道具が御上手でいらせられますこと、一枚の紙に小さい花の模様のあるのを、おきざみになる時等には、先づザク／＼と大ききをして、それから一つ一つ細くきざんでいらつしやる時等、中々御工夫がおりになります、又、縫ひ取り等を遊ばす時でも、右の御手で針をさして、左の御手で糸を御ぬきになるといふやうに、左右兩方の御手を御使ひ遊ばされるところ等、實に御賢明さがほとばしつて居られます。

す。大人であれば、手先きと頭腦とは別々に働くことがありますが、手先きの器用なるもの、必ずしも頭腦の勝れてゐるものとは限りませんが、子供時代には手先きの器用即ち頭腦の優秀なるものと見なしてよいのでありますから、澄宮殿下のこの御手先きの御器用さは、實に御頭腦の御勝れていらせられる事を、はつきりと御あらはしになつて居られます。

澄宮殿下には、總ての事に御趣味を有され、又御上達でいらせられる事は、新聞雜誌等で度々承つて居りますが、殊に立派な御童謡を御作り遊ばされるは、世間既に承知の事でございます、然し何等の御苦心もなさらず、折にふれて御感興の涌くまゝに御詠み遊ばされるのでありますから、生れながらの天才なる幼き詩人でいらせられます。昨秋御誕生日の折、私共も御招き下さいまして、御作の童謡に本居長世氏が作曲されたものを、本居氏令嬢が御前にて歌ひましたのを、承りましたが、實に御作は御立派でございます。左に御作の二三を述べて見ます。

### 一、月夜の空を

ツキヨノソラヲガントビテ

ミヤクンゴテンデソレミテル



## 二、金魚

キンギヨハアカクウツクシク  
オイケノナカヲオヨイデル

## 三、四十四五の

四十四五ノバアガクルマノアトラシヲ  
シテラクタクトノボリケルカナ

## 四、雪

ユキハハナビトオンナシダ  
マツカラバラバラオチテクル

## 五、御所から急ぎ

ミヤクンガゴシヨカラインギカヘルトキ  
マチニデントウツキニケルカナ

## 六、田母澤川

タモザガワハハミヅキヨシ  
ナンデモナガセナガナガセ

## 七、馬

ウマハタイソウウカシコクテ  
ムチヲアテレバヂキハチル

又、澄宮殿下には、カメラで御寫眞を取る事が御上手でいらつしやいまして、私共が御殿に上りますと、御自身で御寫しになつたの色々お見せ下さいます。ほんごに、御上手に取られて居ります。又ピアノも、皇后陛下から御習ひになつたさうで、あの

御可愛らしいまるくした御手で、ポツ／＼とやさしいものをお弾きになるさうで、それが又、聖上御病の爲め御苦勞多くいらせられる皇后陛下の、一番の御慰みになるか承つて居ります。

何しろ、澄宮殿下は實に御賢明のおん方でいらせられます。もう私共の幼稚園へ御成りの事のないのは、惜しまれましてございますが、たい二ヶ月にして、色々の印象深い御事柄をお殘しになりましたのは、私共一同誠に有難い事と存じて居ります。

さて、私共の幼稚園は、高貴な方々や上流社會の兒童達が居りますから、下町の幼稚園や託兒所に居られる方々が、何か違つた教育でもしてゐるではないかと思ひになるかも知れませんが、幼稚園の教育方針は少しも異つてゐませんし、子供の世界は、伯爵の子供であらうが、勞働者の子供であらうが、いづこも同じであります。無邪氣な可愛らしいものがございます。たゞ、他の幼稚園以上に心配しなければならぬ事は、園兒の健康でありまして、この健康状態を調査する爲め毎週一回必ず體格検査をいたして居ります。室内の溫度を高くして、園兒は皆裸にいたし、検査の前には便所にやるさか、注意して可成り嚴重に行つて居ります。昨年から始めたものでも早や一年にもなりますから、この體格検査から何か研究が出来ましたら、又御誌に發表させて頂きます。

## 子供向き雛節句の料理

日本女子大學教授 手塚かね子

子供たちにとつては、春の訪れとも云ふべき、三月三日にお雛様のお節句が近づいて参りました。毎

年の事ながら、子供の心に立ちかへつて、子供本位に楽しく祝つてやりたいと存じます。お節句には、雛壇の美しさは勿論ながら、御馳走といふものも、たしかに子供たちを喜ばせるものでございませう。

今迄、お節句のお料理と申しますと、お重詰めで、即ち、口取り、甘煮、酢の物などでございしましたが、これでは子供たちに餘り適したものではないやうに思はれます。それよりも、お臍部に致しました方が、にぎやかで、子供たちによろしくはないかと思はれます。一體、子供の食物は、柔らかで消化よろしく、味もおいしく、其の上子供は感じ易いものでございしますから、お皿に盛つた所が、色の配合もよく、形も美しいといふのを喜びます。是等の點に心を用ひまして、五六歳のお子様方のお喜びになる御馳走を左に申上げて見ます。分量は五人分と致して見まし

た。

### 第一はお汁

材料。紅白つみ入れ(平目魚二十匁位、長芋魚肉の五分の一、出し)。莢豌豆(少々)。白味噌汁(白のお味噌と出し)。

### 第二はお皿。

材料。稚子鯛(小鯛五尾、馬鈴薯、ほうれん草、鹽)。ホワイトソース。

### 第三は口取。

材料。寄せ櫻(寒天一本、水三合五勺、砂糖四十匁、葛小匙二つ、食紅少々、鹽漬の櫻花少々)、

橘卵(鶏卵五つ、砂糖、鹽)、

百合甘煮(百合根にてよろし。砂糖、水、鹽のみにて煮る)。

### 第四は豆井。

材料。芝海老(十五尾)。青豆(大匙五つ) 干葡萄

(少々)黄味あへ(鶏卵二つ、白砂糖小匙二つ、鹽少々。出し一勺半位)

## 第一、お汁の製法。

紅白つみ入れは、平目魚の切身を取つて、皮をへがし、骨があつたら、庖丁を用ひてこそめ取り、搗鉢ですり、其に、長芋をおろしてすり交せ、出しを一勺位ませて、ふわりと造ります。それを半分に分け、一方は白のまゝ、一方は食紅を少し入れて色をつけます。それから、湯を煮立たせ、今こしらへたのをおしやもじの上のせて置いて、適宜にちぎりながらお湯の中に入れて、ゆでます。それを箆の上にあげて置きます。

莢豌豆は下ごしらへをしてから、煮立たせた湯に鹽を入れてゆで、青い色に柔らかにゆでましてから、水をきつて置きます。

白味噌はよくすつて、出しでのばし、裏濾にかけまして、煮立てゝお加減をして置きます。

お汁はあつくあたゝめて、紅白のつみ入れ各一個づゝをお椀にもり、莢豌豆ももりそへます。

## 第二、お皿の製法。

(イ)稚子鯛、小鯛は鱗を取り、腸を出し頭をとり、

三枚におろします。子供に食べさせるのですから、出来るだけ綺麗に小骨をぬき、まわりの鱗も取り去ります。それから、鹽をふつて、二十分程そのまゝにして置きます。それから水でざつと洗ひ、布巾で水氣を取りまして、其中に、馬鈴薯とほうれん草とをませたものを巻き込んで、即ちロールにして、はしの方を小楊枝でとめて置きます。これをむしまししてから、暖いうちに二個お皿にもり、ホヱイトソースをかけて出します。又好みによつては、葛餡をかけてよろしうございます。小鯛一尾は二個のロールになります。

中にはいる馬鈴薯は皮をむき、よき程に切り、柔らかにゆでます。それから水をきつて、裏濾にかけます。ほうれん草も柔らかにゆで、水氣を充分にしばつて、細く切り、それから搗鉢ですります。それを裏濾にかけます。これを馬鈴薯をませ合せ、緑色位にいたします。これに鹽でお味をつけ、それを鯛の中にもぎ込むのです。ロールハ餘り澤山ですと、はみ出しますから、一寸見える位に上品にいたします。

鯛に味をつける時に、お鹽の代りにお醤油でして

もよろしく、その場合はソースよりも葛餡の方がよろしうございます。

(ロ) ホワイトソース。分量は小匙一つのバター、小匙二つのメリケン粉、牛乳一合、鹽(子供向きです)から、胡椒はぬきにいたします。

鍋にバターをこかし、こげぬやう注意して、メリケン粉を、御飯の時のおしやもじでいためます。(バターのどける温度は、金屬の匙などを入れると、知らぬ間に匙がどけてゆきますから、木の物がよろしくあります。)それから、牛乳を少しづゝ入れ、だんぐりにのべてゆきます。餘りいつまでも煮てゐるとまづくなりすから、メリケン粉がどけてどろろになつた頃に、鹽でお味をつけます。

### 第三、口取の製法。

(イ) 寄せ櫻、寒天を水に四五時間つけ、(寒天は冬季にはぬるま湯の方よし)、これをよくしばつて、細くちぎり、水と一緒に鍋に入れ、火にかけます。木のおしやもじで、始めからかきまはし、鍋の底にかたまらぬやうにします。寒天が水と同じ位に充分にどけた時には、火を少しうごくして、砂糖を入れ、よくこかし、葛を水にこぎ、其を一緒に入れて、よ

くませます。葛が煮えたら、食紅をうすくどいて入れ、一度煮たてゝ、流し箱にながします。すぐと、鹽漬の櫻を細く切つて、ちらしながら入れます。(寄せ櫻としたのは、花瓣を一つにまごめた時に、うつすりと色がたゞようからです)。固りましたら、適宜に切ります。

(ロ) 橘卵、卵はぬるま湯から入れ固くゆでます、ゆでたらば、白味と黄味とをわけて、別々に裏濾にかけます。白味は水分が多いから砂糖を小匙二つ、黄味には三つを入れ、ぬれ布巾を手のひらにのせ、黄味を梅干位の大きさに平たくのばし、その中に白味を少しどつて包みこみます。ちやうど、ちやきんのやうにして、まるめます、直径六分位が形がよろしうございます。まるめた物の上の方は、橘の花の格好に三方に筋をつけ、蒸籠に入れて五分間位むします。

(ハ) 百合甘煮(百合根は少し苦みがあるので、お子さんによつては嫌ひな方があるかも知れませんが、その時は馬鈴薯でもよろしうございます。)百合根を一枚づゝはがし、砂をおとして、ざつとゆで、苦みを取り去ります。それを策にあげます。水と砂

糖と交せて煮たてた中に、これを入れ、甘く柔かに煮ふくめます。柔らかくなり、光澤が出たところで、鹽で味をつけます、好みによつては、お醤油でもよろしい。お皿にもつてから青海苔をちよつとふりかけて出します。

青海苔の焼き方は、茶ほうじに半紙をしき、その中に細い青海苔を入れ、静かにかざして焼きます。かうすると、こげることもなく、色もよく出来ますし、紙の上からもむことが出来ます。細くしてふりかけます。

お皿の向ふに、寒天二つ、左の方に橘卵三つ位、右の方に百合甘煮をもち合はせます。

#### 第四、豆井の製法。

近頃、陶器店へまゐりますと、井の小さいの、即ち豆井といふのが澤山で居ります。形が可愛らしいので、大變流行いたし、猪口の代りに用ひられて居ります、大人でさへ可愛らしいと思ひますから、子供たちにはきつと喜ぶことと思ひます。

芝海老は、脊腸を取り、あつい湯で赤くうで、頭と尾と殻を去り、それを酢で洗ひます。

干葡萄はぬるま湯に浸し、よく洗ひ、へたを取り

ます。(干葡萄のへたは少なくて取るのに面倒な時は、湯に入れぬ前に、メリケン粉をかけ、手でもむと直ぐ取れます。あとでメリケン粉を洗ひ落してしまひます)もし種子がありましたら、指はらでもんで出します。

青豆は、鐘詰や瓶詰めのをを用いた方が便利です。(林檎を代用してもよろしくあります。)青豆を鐘から出したら、湯をかけて、鐘の臭味を取り、水をきつて、そのまま用ひます。

黄味あへ。(これはいたりたまごをつくつて、裏濾にかけたのです。)卵をつぶしてよくとき、砂糖、出し、鹽で味をつけ、それを鍋(瀬戸のやアルミニウムの上)の中で、箸でまぜながら煮ます。ぼろ／＼になつたら、火から下ろして、裏濾にかけます。

芝海老は酢味があつて大變風味がよくあります。この位の酢味なら、小さいお子さんにもさしつかへありません。

これを取りませて、可愛い、豆井にもります。

お雛様のお節句の御馳走は大抵この位でよいと存じます。お菓子類は、御家庭で一々面倒なさるより、

却つてお買ひになつた方が御便利でございませう。又これ等のお料理に、高價だと云はれてゐる鶏卵をよく用ひましたのは、子供のお料理には鶏卵はなくてはならぬものでございます、それに三四月頃は、俗に草卵とか申し、よい卵の出る節でございませう。又近頃上海卵(支那卵)といふのは、地卵が十錢位なのに、五錢位で買はれます。上海卵は夏時分には腐敗に近いのもありませうが、三四月頃なら大丈夫ですから。もしお安くとお望みの方はこの方がよろしいと存じます。

○思ふこと (一)

地方の一會員

去月帝國教育會主催の全國保育者大會の記事を拜見致し我々直接保育事業に關係して居る者は何れも平素痛切に感じて居る項目でありますので痛快に感じました。近い將來にこの協議せられた事項が實現せらるゝであらうと喜んで居ます。

今日の小學校教育は多くは知的方面に重きを置き幼稚園にて身體發育及び道德教育の基礎の上に注意するに反し小學校にては單に幼稚園の効果を多くは知的方面よりのみ論ぜられ幼稚園にては一幼児にても入園當時より小學校に送るまでには多大の注意を拂ひその身體方面及び性癖矯正智力の開発等これまで家庭のみでは見出されなかつた或物を發見し種々の點に於て有利な成績をあげて居ると斷言

することの出來得る子供に對しても小學校にてはその子供としての個性を考へずに唯單に智識方面一點張にて幼稚園の効果を批難せらるゝのは如何にも堪へ難い事であります。

保母の養成機關に付て種々決議されて誠に結構なことと思ひます幼稚園の保母は何れも師範教育なり又は其他の教員養成機關を卒業せぬ者はなくその上に幼児教育の方面も研究しつゝ、従事して居ますので小學校の一學級が受けてぬ者はなからうと存じます。都會で幼稚園の數の澤山ある所ではそんなお感じの少い方もありませうが田舎の幼稚園は實に憐れなものでございます。故に一方小學校の教員側に幼児教育の事を解して戴きたいと存じます斯くせざれば如何に幼稚園側に勤めても其効果は認められぬばかりでなく全く破壊される破目に陥ります四歳位から八歳頃迄の繼續的發達の時期にあるものを今の師範教育に於てはこの時期を全く切り離して考へられて居る様でありますからこの根本の解決の付くのは先づ教員の養成機關より改善して行かなければならぬと存じます。かく養成した小學校教員は幼児教育の必要を認められ幼稚園も義務教育として同一系統内におかなければならぬとの念を起されるであらう思ひます。

法令上も一般民衆も幼稚園の必要は認めましても地方教育費の益膨脹する今日のことですから幼稚園を獨立して經費を費すより小學校の附設として同一敷地内に置き砂場やブランコ等の運動具運動場も共通に使用し其他動物飼育植物栽培等の幼児に不可能なる作業の一部は上級生の力を籍りてなす様にすればこゝに長幼相扶けるの温情を養ひ又一方幼稚園側では小使の手一人は省けその費用は他の有利なる方面に使用することが出來やうと思ひます。又標本掛圖など

(以下四四頁に續く)

# 大都市幼稚園動植物育養方針

神戸市保育會

幼兒をして自然に親ませるため、園内に動植物を飼育栽培しようとするには、先づ幼兒の心情を知り、此に適當な方法を講せねばなりません。即ち幼兒は、自然界に對し、如何なる態度、如何なる要求を持つて居るかを調べねばなりません。之れが計劃の立脚點で、幼兒の態度は次の如く大別することが出来ると思ひます。

即ち、第一は利用的態度、第二は宗教的態度、第三は鑑賞的態度、第四は研究的態度でありまして、この四つは程度に強弱の差があり、發生に遲速の別はありますが、一言にして云へば、最初に現はれるのは利用的態度で、次は宗教的態度、鑑賞的態度、最後に研究的態度であります。そして、第一が最も強烈で、二、三は次ぎで、第四のものは最も力弱いものであります。

自然物と云つても、幼兒の注意を惹くものは、矢張り生活力ある生物で、礦物の如きは餘り興味がないのであります。

いのでありますから、次に動植物を主として、幼兒に適する材料選擇の標準を一寸述べて見ます。

第一、利用的態度に對する標準

- (一) 兒童生活に直接關係あるものを採るべき事
  - (イ) 採つて口にし得るもの
  - (ロ) 採つて口に入れてはならぬもの
  - (ハ) 採つて遊ぶ材料となるもの
  - (ニ) 收穫數(量)の多いもの
  - (二) 吾人の生活に必要なものも加味すべき事
  - (イ) 食料となるもの
  - (ロ) 被服材料となるもの
  - (ハ) 醫療用となるもの
  - (ニ) 其他工藝材料となるもの
- 第二、宗教的態度に對する標準
- (一) 迷信を打破する材料を採るべきこと
  - (二) 自然の偉力を感じ得るものを採るべきこと
  - (イ) 觸接刺戟に感應し直ちに運動を起すもの

(ロ) 刺戟に反應して運動するもの  
(ハ) 成長運動の盛なもの

### 第三、鑑賞的態度に對する標準

(一) 審美心を満足せしむるものを採ること

(イ) 形態美に富めるもの

(二) 審美力の程度に相當するものを採ること

(イ) 形状の大なるもの

(ロ) 色彩の鮮明なるもの

(ハ) 香氣馥郁たるもの

(三) 成熟期の短いものを採ること

(四) 鑑賞期間の長いものを採ること

(五) 強健にして栽培飼育の容易なるものを採る事

### 第四、研究的態度に對する標準

(一) 研究心を啓發鼓吹するものを採ること

(二) 心力發達の程度に適するものを採ること

(三) 發達速にして變化の顯著なるものを採ること

以上の標準によつて選擇すると次の様です。

### 第一、利用的方面材料

(一) 兒童生活に直接關係あるもの

クリ、ウメ、ユスラウメ、ミカン、キンカン、

ブドウ、ザクロ、カキ、スキクワ、トマト、ナ

ス、タウモロコシ、ソラマメ、エンドウ、ナン  
キンマメ、ダイズ、ヤマノイモ、サツマイモ、  
ジャガタライモ、マツ、タケ、キ、コリヤナギ、  
アケビ、アカ子、クチナシ、キツ子ノカミノ  
リ、ヒガンバナ、ジエツダマ、タンポポ、ケイ  
トウ、タチアホヒ、アサガホ、ナンテン。

(二) 吾人の生活に必要なもの

イチ、ムギ、ソバ、タウモロコシ、ソラマメ、  
エンドウ、ダイズ、サトイモ、タマ子ギ、ヤマ  
ノイモ、ダイコン、カブラ、ツケナ類、ニンジ  
ン、ゴバウ、サツマイモ、ジャガタライモ、ク  
ワキ、ユリ、ナンキン、ヘチマ、ナス、ワラビ、  
マツ、タケ、サトウキビ、芋、コリヤナギ、ク  
ワ、アサ、アキ、アケビ、ワタ、チャ、ツバキ、  
キツ子ノカミノソリ、ヒガンバナ、スキセン、  
シキミ、キンパウゲ、キツ子ノボタン、タカラ  
シ、トリカブト、ケシ、アヂササ、ドクウツギ、  
ユキノシタ、ハブサウ、アヲキ、アセビ、フチ、  
ウツギ、ケフチクタウ、ヒヨドリジヨウゴ、チ  
ウセンアサガホ、イマホホヅキ、ドクダミ、ハ  
ブサウ、ゲンノシヨウコ、ザクロ、ムシヨケギ



ク、タンポポ。

## 第二、宗敎的方面材料

オチギサウ、マツバボタン、タンポポ、ヒツジ  
グサ、ボタン、ホウセンクワ、アサガホ、ヒマ  
ワリ、タケ、フクジュサウ。

## 第三、觀賞的方面材料

ユリ、ウメ、キンカン、ヘウタン、マツ、タケ、  
ツバキ、スキセン、トマト、トリカブト、ケシ、  
アヂサイ、アヲキ、ユキノシタ、シノブ、アジ  
アンタム、カヘデ、オチギサウ、アヤメ、ハナ  
シヨウブ、カンナ、シユンラン、ケイトウ、マ  
ツバボタン、ダイアンサス、カーチーシヨン、  
ヒツヂグサ、ボタン、ケシ、ヒナゲシ、アヂサ  
イ、バラ、サクラ、ゼラニウム、ナスタチユ  
ム、ホウセンクワ、タチアフヒ、バンジー、ス  
ミレ、デンチヨウダ、ツツヂ、アサガホ、ベニ  
バナ、サルヒヤ、ベチニア、キンギヨサウ、ヒ  
マワリ、ヒヤクニチサウ、キク、シヤボテン、  
ナンテン。

## 第四、研究的方面材料

生物發育の經過の有様、共存體的生活の有様、

生物の發生と兒童生活との關係

次には、動物の方に就いて、一言述べて、皆様の御參考にしたいと思ひます。

### 第一、有用動物

(一)直接有用動物

家畜として、イヌ、子コ、

家禽として、ニワトリ、アヒル、ハト、

家蟲として、カヒコ、

食用として、カニ、エビ、ドブガイ、(シジミ)

タニシ、カタツフリ、ドジョウ、

コヒ、

### 第二、愛玩動物

(一)形態觀賞

キンギヨ、メダカ、カメ、カナリヤ、シマリス、

サル、コヒ、オシドリ、コガヒ。

(二)聽聲愛養

キリギリス、

### 第三、有害動物

(一)直接有害動物

カ、

(二)間接有害動物

アゲハテフ、モンシロテフ、イラムシ、ミノムシ、アブラムシ。

#### 第四、雜類

ニナ、モノアラガイ、イモリ。

栽培、飼育の事たる、一朝一夕の事ではなく、少くとも數ヶ月數年の繼續事業で、詳密の注意と不斷の努力と至大の同情とを要するものでありますから、少數の責任者を設けて、此に委すべき性質のものではありません。必ず全國擧つて、此れが經營に従事し、其の完成に努力せねばなりません。幼兒は力役に服する事が出来ませんから、保姆の努力は非常なものであります。將來、是等の施設が園児の生活に適すると、其の價値の偉大なのに想を致し、常に經營と利用とを誤らぬ様にせねばなりません。

#### ○思ふこと (二)

も時としては幼稚園に要するものと小學校に使用するものと同一のものも澤山ありますから共通にして雙方に使用する様にすれば町村の經費を省く事は大なるものと思ひます。現に或地方では小學校の運動場を開放して幼稚園に使用させて居られるところがあります。

斯くしては小學校の授業のさまたげとなるとの批難もありませうがこゝは雙方次第幼兒といつても命令に服従するとか他人の妨害をしてはならぬといふ訓育が徹底して來れば弊害ない事と存じます或縣では小學校の一二年受持教員が或年は幼稚園を受持ち又幼稚園の先生がその子供を持ち上りて一年を受持ち又幼稚園の保姆に缺勤のある場合小學校より補勤に行かれるとの話も聞きました。園長は専任園長でなければ保育事業は發達せんとのお説も承りましたが今日の經濟狀態では小學校の校長に園長を兼務させれば宜しからうと思ひます無論裕福な町村はそんな必要はありませんが要は校長が兼務で他教員にも幼兒教育も小學校教育も繼續したものと理解があつて雙方研究的態度に出づるならば個々獨立して門を別にするよりも同一敷地内にあれば雙方の子供に接するにも態々時間を要せずして其心理状態を調べ僅かなる時間を利用して參觀なし合ふことも出来ここに連絡問題も解決のつくことと思ひます。この際雙方とも批難攻撃の態度に出でず熱心なる研究のもとに批評なし運動場にても雙方教員の圓滿なる徳義の空氣の漲つて居れば子供は自然それに倣ひ教育の一部の目的は達せられると思ひます。

去月の會議でも文部省主催の保育科講習を順次各地方に於て開かれたきとの協議があつた様ですがそののみならず毎年賞會で開かれる講習會も出來得ることならば地方でも開催して戴きたいと思ひます。都會ではこの會のみならず常に種々の會合があつて熱心に研究して居られるに係らず田舎は何等の會合もなく一年一回の講習といつても小學校を主とするものであります。今後地方でも開かれる様になり小學校教員も保姆も共に出席して種々の方面から研究しましたならば幼稚園も發展するであらうと存じます。

# 幼児の躰

朝海幼稚園長 千葉 秀子

毎日／＼の務めに追はれて居りまして、別に深い研究をしてゐる問題もなく、何を申上げてよいやらわかりませんが、二月も半ばとなりますれば、お子様をお持ちのお母様方は、幼稚園にお送りになる準備にそろ／＼御かゝりになる事と存じます。

私共の幼稚園では、毎年初めて入園した御子様のお母様方に、「幼児のしつけ方」と題する小冊子を差上げる事として居ります。これは、數年前、私が長い間の經驗から研究して、氣付いた事を書き述べたものでございますが、幾分でも御參考までにと存じ、お母様に差上げて居ります。數年來毎年四月に差上げて居りますもので、皆様御承知の事で、別に耳新しいことでもございませんが、東京市内の幼稚園、又は地方の幼稚園に於ても、私共と同じ企てをしてゐらつしやる所がございましたら、是非お伺ひして、又時代に適するやうな新しい意見も加へ、從來の「幼児のしつけ方」の内容を改めたいと存じて居りま

す。それ故、左に、「幼児のしつけ方」の中から、一寸述べさせて頂きます。

第一、朝牀にある間は如何に躰けべきか、必ず一定の時間に起すべきこと、

目覺し等決して與へぬこと、

第二、起きて顔を洗ふ迄

起きたらば直ぐ寢衣を著替へさせること、  
直ちに顔を洗はせること（三四歳まで洗つてやる）

又口を嗽がせ（微温湯）手を洗はせること  
相當年齢に至れば冷水摩擦をさせること、

第三、朝食から登園まで

朝食の時間を一定すること、  
與へたる食物に満足させること、

充分に咀嚼させること、

食後直ちに嗽をさせること（微温湯で）

登園準備としては

衣類履物等に我儘を言はせぬこと、  
女兒には梳らしむること。

登園の時は幼稚園で不必要な品は與へぬこと  
一定の時刻に登園せしむること（幼稚園迄の距離を見はからつて）

#### 第四、登園途中、

可成歩ませること、  
途中で買物をなし又道草させぬこと

#### 第五、歸宅より夕食迄の間の躰方

歸宅せし時も父母又は他の長上に挨拶さすること（登園の時も同様、又途中長上に逢ひたる時も）園より持ち歸りし品は一定の場所に自身で仕舞はせること、

園にありし事をよく父母に向ひ話すこと、

可成袴又は衣類を著替させること

菓子（おやつ）等は幼児により適宜に與へ金錢は與へぬこと、

#### 第六、夕食後より寝るまで、

夕食後は食べ物を與へぬこと、  
運動を適宜にさせること、  
寝る時間を一定すること、

寝る時は便所へやり又寝巻を著かへさせること、

外出をさせる場合には、外遊の時間を定め置くこと、及び友だちを選ぶこと、

夜は家人等外出する時同伴せしめぬこと、

入浴の期日を定め置くこと、

入浴をさせぬ時は手足をよく洗はせる事、

爪及び耳垢理髪等適度に必ずしてやること、

來客の時は幼児を客間に入れぬこと、

他家を訪問する時には幼児を伴はぬこと、

#### 第七、就眠より翌朝迄

可成獨寝させること（衛生上）

夜中は如何なることありとも無理を通させぬ様にすること、

序でに申上げますが、女中（附添人、送迎人）の善悪は、幼児の躰方に大關係のあるものでございます。

幼児の附添、又は送迎をしてゐる女中は、他の女中とは異つて、常に幼児の傍にあつて、我が愛兒を直接に育てる重い責任を帯びて居るものでありまして、其人の一舉手一投足が幼児に關係するものでありますから、その選擇を誤つては、恐ろしい結果に

なります。

## 女中選擇の心得

- 第一、正直で温順なもの、
- 第二、身體の強壯なもの、
- 第三、親切心の深いもの、
- 第四、規律を守るもの、
- 第五、多少教育のあるもの、
- 第六、相當年齢にて育兒に經驗のあるもの。

○前號の私の名による記事を拜見して、

前號に私の名の記事がのつて居りますので、意外に思ひつゝ、拜見しますと、夫れはいつぞや、日暮里へ御案内し、御一緒に細い家々細い道道を語らひつゝ、歩いた日本幼稚園協會の方が私の名元にお書き下さつた事が分りました次第で、拜見しますと、私の考へ及ばないところを、餘り立派にお書きになつて頂いたので、お恥かしくてたまりませんし、それに、其中の愛憐團の御働きに私もお手傳して居る様になつて居り、夜學も亦、自分専らの計畫の様になつて居りますので、先方の方々に對し、濟まないと思ひまして、一言、お斷りを書かせて頂きます事にいたしました次第であります。

愛憐團は一昨年から隣保事業として、クリスト教の元に、色々のお働きをなすつて入らつしやいますが、夫れは愛憐團のお働きて、前號の記事は、そこを訪問した時に、その林さんから、御一緒に何つた話で御座りました。

それから、夜學の記事に付て、趣意は誠によくお書き頂きましたが、昨年櫻楓會東京支部の研究部の一つとして、自由に組織いたしましたもので、主として、昨年本業の若い人々を中心になつて、當つて居りますので御座いますから之もお斷り申しておきます。

託兒所も誠にいつ迄たたましても、ますゝ自分達の心の足らぬこと努力の足らぬ事を感じて居りますので、中々效果などは思ひ及ばない事があります。唯葉鳴の託兒所はしつかりした落付のある建物と與へられ、大人も子供も無言の感化を受けて居ります事を感じて居ります。

會の一人に列つて、皆様と共に仕事して居ります私は、前號の記事を拜見して、其儘に過し得ぬ心地いたしましたしてお斷りを書かせて頂きました次第で御座います。(十一、一、二四)

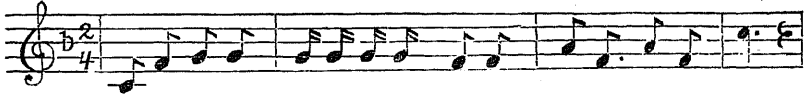
私共の幼稚園で毎年配ります小冊子「幼兒のしつけ方」には、大體今迄申し述べたやうな事柄のくわしい研究がしてあるのでござります、古い研究ながら、毎年四月には新しくなつて役立つて居りますので、今回はこれで失禮させて頂き、又其のうちに何か研究し、御誌に發表して、皆様の御批評をうけたく存じて居ります。

丸山千代

# ピョン太郎

作曲作歌

大和田愛雄



- |   |        |                    |     |                 |                 |                 |
|---|--------|--------------------|-----|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1 | オイケノ   | ピョ <sub>ン</sub> タロ | サンハ | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> |
| 2 | モウイッペン | ジヨウ                | ヅニ  | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> |
| 3 | オトモダチヲ | ヨンデ                | キテ  | ト               | ビマ              | セウ              |
| 4 | モウヒトリ  | ヨンデ                | キテ  | ト               | ビマ              | セウ              |



- |   |    |     |    |     |                 |                 |                 |
|---|----|-----|----|-----|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1 | カア | サント | イツ | シヨニ | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> |
| 2 | コン | ドハ  | ヒト | リデ  | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> |
| 3 | ミン | ナデ  | イツ | シヨニ | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> |
| 4 | ミン | ナデ  | イツ | シヨニ | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> | ピョ <sub>ン</sub> |

## ピョ<sub>ン</sub>太郎

1、お池のピョ<sub>ン</sub>太郎さんは

ピョ<sub>ン</sub>／＼／＼

お母さんと一緒に

ピョ<sub>ン</sub>／＼／＼

2、もう一ぺん上手に

ピョ<sub>ン</sub>／＼／＼

今度は獨りで

ピョ<sub>ン</sub>／＼／＼

3、お友達を呼んで来て

飛びませう

みんなで一緒に

ピョ<sub>ン</sub>／＼／＼

4、もう一人呼んで来て

どびませう

みんなで一緒に

ピョ<sub>ン</sub>／＼／＼

# ピヨン太郎カルタニ就いて

女子師範附屬幼稚園 野尻てつ子

私共の幼稚園に於て、今度ピヨントロ歌留多といふものをこしらへて見ました。之に就いては、主事平田華藏先生の御懇切なる御指導をうけ、又私と共にこの幼稚園に御出でになる方々の御助けを受けて、やつと此の程出来上りましたのでございます。

私が皆様に代つてお話申上げるのは、誠に僭越に存じますが、一般社會の子供の教育に従事してゐられる方々の御批評も受けたいと存じ、左に少しばかりこの歌留多の内容を述べさせて頂きます。

子供は歌留多類を大層好みますもので、私共の幼稚園の子供でも、「先生歌留多を借して下さい」、と絶えず云はれますのでございます。今子供向きの歌留多としては、種々出来て居るものもございいますが、内容がむづかし過ぎたり、或は子供に適さないものであつたりしてゐるのを、誠に遺憾に思つて居りました。こんな不適當な歌留多でも、子供等は、繪をつたつて、取つてゐるのを見て、これほど好むもの

ならば、何か適當なものはないか、と常々考へて居りました。

この時に、お茶の水女子高等師範附屬幼稚園で編輯して發行された、「幼兒に聞かせるお話」と云ふ本がございしますが、この中にあるピヨントロのお話は、何度子供に聞かせても、喜んでしてくれ〜と云ふのを見まして、このお話を歌留多に致したら、さぞかし子供たちに喜ばれるだらうと思ひ、工夫をして出来たのが、このピヨントロカルタでございます。

皆様はピヨントロのお話はとうに御存じでいらつしやいませうが、歌留多の文句を説明する上から、左にこのお話の梗概を話させて頂きます。このお話は一言にして云へば、蛙の生立ちの記とでも名づけ得べきものでありまして、三部に分れ、第一部には、お池の中の蛙のお家にオタマジャクシが生れ、それから足がはえて、小さい蛙になつたので、母親蛙は、この蛙の赤んぼに、びよん〜とぶことが上手にな

れるやうにと、ピヨントロさんと名づけました。第二部には、そのピヨントロさんが蛙の運動會へ出て、駆つこで一等賞を取つたお話、第三部はピヨントロさんがお池へ釣に行つた有様、これらがさながら人間のすることのやうに、面白い言葉で面白く描寫してあるのでございます。

さて、ピヨントロカルタは、このお話の中から、文章をつくつたので、四十枚ありますが、「いろは」すべての文章は少し都合がわるくて、使ひ損ねたのや、濁音の出來たのは、残念に存じますが、内容の面白いのに免じて、許して頂きたいと存じます。

- (1) マツクロナチヒサイオタマジヤクシ
- (2) ボクモカアサンツレテツテ
- (3) リカウナピヨントロサンオルスシテ
- (4) キンギヨサンメダカサンアソビマセウ
- (5) アシガ四ツニナリマシタ
- (6) サアヒトリデトンデゴラン
- (7) ビヨントロサンイイオナマヘ
- (8) ヘンナアシツキピヨントロサン
- (9) クサノナカヘトヨロコンデ
- (10) ミヅノナカラスウスウスウ

- (11) フタリデーシヨニピヨンピヨン
- (12) モウヒトリヨンデキヲトビマシヨウ
- (13) カヘルノシンブンヨンデマス
- (14) ノハラデカヘルノウンドウクワイ
- (15) 子ラレナイホドウレシイナ
- (16) スキトウサゲテオベントモツテ
- (17) ブーカブーカドンドンドン
- (18) ムカフニハタガヒラヒラヒラ
- (19) ハナビガドーンポンポンポン
- (20) ソラウインドウクワイガハジマツタ
- (21) ゴウレイカケルハガマガヘル
- (22) ヨーイドーンピヨンピヨンピヨン
- (23) ナカナカミンナモハヤイノデ
- (24) イツビキニヒキサンビキヌイテ
- (25) セントウダイイチピヨントロサン
- (26) ラツバラフイテオイチ二三
- (27) ケンブツガヘルモオモシロサウ
- (28) レツヲタダシテオイチ二三
- (29) ツリザラモツテサカナツリ
- (30) オベントカアサンアリガタウ
- (31) テンニハオヒサマワラツテマス



(32) ドブントトビコミスウスウスウ

(33) ヤット一ビキツリマシタ

(34) ウナギダズキブンナガイナ

(35) エンヤラヤットヒキアゲル

(36) タクサンツレテウレシイナ

(37) ニガシテモラツテオホヨロコビ

(38) ユフヤケコヤケアシタテンキニナーレ

(39) メダモノオホキイビヨントロサン

(40) ヌレテモボクハコマラナイ

この四十枚の中、(1)から(12)まではビヨントロのお話の者一部から取り(13)から(28)まで十六枚は第二部から、(29)から(40)まで十二枚は第三部から取りました。

このビヨントロカルタの特徴とも申すべきところを左にあげて見ませう。

第一に、歌留多の文句に連結があり、四十枚合せれば一つのお話になつて、子供の頭に残ることです。

第二、歌留多を取り易い爲めに、黄、青、赤、緑、橙の五色にわけて彩色してあります。それ故、子供等は、赤い方の札を讀んでゐる時は、赤い繪の札をさがせば必ずあると知つてゐますから、小さい子に

も取り易くなります。

第三、從來の歌留多は形が小さすぎましたから、

この歌留多は形を大きくして、繪も鮮明に、字も片假名で鮮明に大きく書く事に致します。

先づこんな所でございますが、文句も繪も私共素人の致しました事で、不十分でございます。唯今、フレーベル館で製造中でありませうから、出来ましたら方々に御送りして御めかけますから、御遠慮なく御批評下さいませ。

次に、ビヨントロの唱歌と遊戯を工夫致しましたから、此處に一寸述べさせて頂きます。唱歌の文句は左の通りです。(前掲音譜参照)

(1) お池のビヨントロさんはビヨンビヨンビヨン

母さんご一緒にビヨンビヨンビヨン

(2) もう一ぺん上手にビヨンビヨンビヨン

今度はひとりでビヨンビヨンビヨン

(3) お友達を呼んできてごびませう

皆で一緒にビヨンビヨンビヨン

(4) もう一人呼んできてごびませう

皆で一緒にビヨンビヨンビヨン

遊戯は左の通りです。

先づ圓形を作り圓心に向く。ピョントロとお母さんになる者を定めて圓形中に立たしむ。

(一) お池のピョントロサンは、(ピョントロはお母さんに兩手をひかれて飛ぶ用意をなす。圓形の者は手をとり池を作る)

(ロ) ピョンピョンピョン、(ピョントロのみ兩足で五回飛ぶ、一同拍手五回)

(ハ) 母さんと一緒に、(一同はお池を作り、ピョントロとお母さんはその儘で飛ぶ用意)

(ニ) ピョンピョンピョン、(兩人一緒に飛ぶ、一同拍手五回)

(2) (イ) もう一ぺん上手に

(ロ) ピョンピョンピョン、(イ) 及び (ロ) は (一) の (イ) 及び (ロ) に同じ

(ハ) 今度はひとりで (母さんと手をはなす、一同はお池をつくる。)

(三) ピョンピョンピョン、(ピョントロのみ飛ぶ、一同拍手)

(3) (イ) お友達を呼んできて

(ロ) とびませう、(イ)、(ロ) はピョン太郎は

お母さんと手をつなぎ、圓列の中からお友達をつれてくる。)

(ハ) 皆で一緒に

(ニ) ピョンピョンピョン、(ハ) 及び (ロ) は前と同じ)

(4) (イ) もう一人呼んできて

(ロ) とびませう。(皆で手をひいて圓形の中のお友達をもう一人よび来る)

(ハ) 皆で一緒に  
(ニ) ピョンピョンピョン(前と同じ)

はちあはせ

喜美ちゃん和三郎さんと鉢合せして二人共泣き出した。

幼稚園の先生が駆けつけた。そして言った。

「つよい子は泣かない、これつばかり痛くはありませんね。」

富美子さんが傍に来た。

「あら！ 痛いんでせう？」と小さい肩に小さい手をかけた。

和雄さんが通りがかつた。

「君、どうしたの？ 痛いんだね。何處ぶつたの？」と顔のぞき込んだ。

大阪市立江  
戸堀幼稚園

## 膳先生銅像除幕式の日

楓 一 子

變遷うつりかわりといふ事には二様の見方がある。新しくなつて行くといふ事と忘れられてゆくといふ事とである。

十二月風寒い四日、冬空のひどい冷たさを感じる日の午後、師を思ふ心、師を慕ふ心、師に報ゆるの心、思ひの暖い心をよせて大阪市西區江戸堀幼稚園に集つた人々は無慮六百人を算へられました。



膳先生壽像

紅白の幔幕が美しく引きまわされて、一段と高い正面左手につまじやかに數十年來の榮えある活きた歴史を物語る膳先生が御坐りになつてゐられる。右手には斯界の天才と云はるゝ渡邊先生が御鑄造なさつた膳先生の壽像が置かれてある。

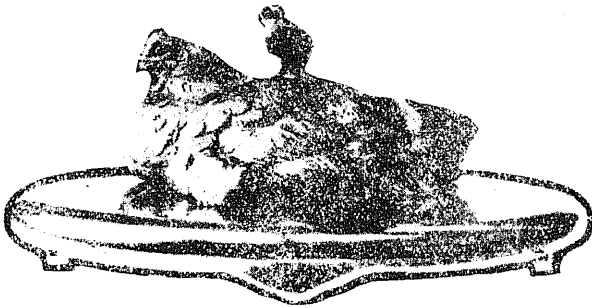
定められた様に式の順序は進んで行く。

然し私達は日々に更に新しく然もたえず追憶し乍らすゝみゆくといふことを望みたいのです。

知事市長さては京阪神遠くは東京岡山邊よりわざわざ來られた方々の祝辭、日本各地よりの祝電數へ

切れぬ程でありました。

祝ひの言葉が壇上から響く度毎に、會衆は一樣によろこびの拍手を以て迎へられた。先生は終始謙遜なうなづきを以て答へられてゐた。



作氏男長遠波京東物置之雛育鷓鴣

時間の制限が多  
くの人に充分の祝  
詞をのべるべき時  
を與へなかつた  
が、更に委員の方  
の御話によるごあ  
の様に一人二分間  
ご制限しても、更  
に人數が餘るの  
で、随分希望者を  
除去した相でし  
た。

先生の高徳、先  
生の慈愛を祝は、  
んとする人々の如  
何に多きかを物語るに充分であらう。

四時といふに式は閉ぢられ茶菓辨當の饗應にあづ

かつた。三々伍々いづれも先生の御祝の會話が交へられ乍ら退場されました。

銅像及銘は別掲の通りであります。

私はこゝに其日の一端を記して筆をおかんとする前に忘れてはならぬ事があります。

古い法則に偉人賢人の後には、又その偉人賢人を撫育した偉人賢人がある。

誠に膳先生に於ても其法則が首肯される。

其道の爲につくせ、其道の爲に學べ、其道の爲に祈れ、その道の爲にその道の爲に日に夜に先生が初めて大阪府立模範幼稚園保母となられた明治十四年十一月十四日の時から今日まで教へ導かれた吾國保育界の隠れたる偉人令姊、氏原鏡先生（醫學博士、氏原均一氏母堂）のある事を忘れてはならぬ。

私は年の瀬が近よつて來る十二月といふ時、然も靜に、吾保育界空前の出來事である保母膳先生の銅像除幕式の日を迎へた事を何となしにうれしい氣分がした。

愛は永久におつる事はない。愛はすべてのものを生かしてゆく。愛のない處には建設もない創造もない。

先生の愛に生きて行く多くの人々を今眼の前に見た先生は、どんなにうれしかつたでせうか。

先生はかくして昨日も今日も又明日も永く天壽を全ふし吾保育界の爲につくされん事をのみ祈る。

### 頌徳文

膳女史東京人明治十四年爲大阪府立模範幼稚園保姆後轉江戸堀幼稚園鞠育撫養四十餘年園兒親愛如慈母居常好學研修不倦接人惻切持己溫恭識德共熟令聞洽及世推爲儀表頌者江戸堀教育會員胥謀銅製女史像茲卜教育勅語發布後三十年之吉辰建之以傳其績於不朽云爾 文部次官從四位勳二等 南 弘 撰

## たゞ一言

私は長き年月幼児教育に従事いたして居ります。たゞ長いと申す名目計でございまして、何等これと申す功績も得擧げて居りませす。徒らに後進者の前途を遮つて居るのでございませす。それにもかゝはらずこの度盛大なる表頌式を舉行して頂きました事は、全く自分一人の力ではございませせん。皆々様方の御同情御援助によりまして今日ある事を只管感謝い

### 贈呈品箱書の寫

膳先生多年始終一貫保育上に盡されし事を表獎せんが爲め江戸堀幼稚園に先生の壽像を造り之を同園内に安置せり其作製方を不肖に依囑せらる同時に江戸堀教育會は此事を紀念せんが爲め置物贈呈の議成り再び余に需めらる依而先年御前謹製御嘉納の牝鷄育雛の置物こそ其保育の意味に於而又本年は酉年に相當するの故を以て恰好のものと思ひ再び是れを鑄鑄して需めに應ずる事とせり。

大正酉年秋の日

長 男 識

大阪市江戸堀幼稚園

膳 ま き 子

たして居る次第でございませす。私は何よりも一番好きな天職に従事いたしまして今日まで子供の友達と成て凡てを子供より學び、出來得る限り子供の理解に努め毎日愉快に楽しく面白く暮して居ります。身の幸福を日夜感謝いたして居るのでございませす。これに酬ひ奉らんには益々幼児教育のため研鑽努力いたしまして子供のために盡したいと存じます。

## 淺草會館の諸事業

主在 矢 島 保 高

私共が盡力してゐる淺草會館に於ては、唯今、託兒所、裁縫夜學部、無料診療部、人事相談部、傳道部の五事業をいたして居ります。理想を實現する事は何事にしろむづかしいものでありますが、私共は全力をあげて努力をいたして居ります。

この淺草會館は、一昨年七月八日に、淺草の地方今戸町に設立されました。御存じでございませうが、この今戸町邊は、淺草公園の裏手に當つて居りまして、主として遊廓吉原へ通ふ人々を目當てに、商賣などをしてゐます所とて、その邊の風儀を直す上から、又労働者達の實際の生活上から、どうしても何かの社會設備がなければならぬ所なのであります。かねてからかうした考へを持つてゐた人々が集りまして、殊に西洋人の方がアメリカ迄ゆかれて資金を募集され、私共は日本の富豪達の同情を得まして、唯今の建物を借りることが出来たのでした。この建物は、もと寄席でありましたが、淺草公園が近いも

のですから、どうせ遊ぶなら雷門まで出た方がよい、と云つて、段々この寄席がさびれて來たのでした。其處で、私共はいろ／＼手をまわして、敷金七百圓、家賃百圓といふ値で借りうけたのでした。さうして今迄、人々が夜々集つてゐた座敷はホールに直し、落語家があつて笑はしてゐた舞臺は、教壇の代用となつたのであります。

託兒所の方は、皆様が遊ばしてゐる託兒所と同じことをしてゐるのであります。別に申上げるやうなこともありません。唯今六十人程の幼兒が通つて居りまして、保母の方二人にお願ひしてあります。其他に看護婦の方が一人居て、幼兒の衛生上のお世話をして居ります。此邊は、今申したやうに、吉原をあてに暮してゐる人達ですから、夜の町とも云ふべき所で、夜は寝るのが非常に遅いので、従つて朝が遅く、託兒所へ來る子供達も、時間がおそくなりまます。また、この邊に住む人々は、絶えず移動しま

すので、昨日まで託兒所に來て、遊んでゐた兒が、今日は休むといふ風があるので、子供の生活が父母の生活の移動と共に、轉々としてゐるのを見て、氣の毒に思ひます。先日、託兒所の子供等の父母の職業を調査して見ました。

大正十年度一ヶ年中託兒所にて取扱へる兒童の父の職業。

西洋料理	1	鳶職	4
職工	3	洋服裁縫	1
古物商	2	大工	5
ブリキ職	2	箱屋	1
人夫	5	土工	3
車夫	7	薪炭商	1
貸座敷雇	2	染物	1
製箔職工	1	獸製造	1
織物模様つけ	1	電車車掌	1
電車運轉手	1	義手足職	1
下駄齒入	2	雜業	1
ミシン職工	1	疊職	1
靴製造職工	1	烏行商	1
指物職	2	店員	1

金物行商	1	魚行商	2
巡查	3	洗毛業	1
區役所雇吏	1	草履製造	1
籠職	1	建具職	1
おでん屋	1	支那そば行商	1
賣藥行商	1	かもじ職	1
左官	2	車力	3
打綿業	1	會社員	1
桶職	1	鍍金業	1
煮豆屋	1	西洋洗濯	1

同上母の職業(母の職業は餘りに轉々として一定せざる故比較的正確なるものゝみを報告す。)

鼻緒内職	3	裁縫	2
不定勞働	5	洗ひはり	1
産婆	1	貸座敷雇	5
カラー製造内職	1	機織	2
かみゆひ	2	保姆	1
女中	1	菓子行商	3
ゴム足袋内職	1	女工	10

託兒所の所屬事業とも云ふべきものは、母の會であります。毎月一回、五十人位集ります。託兒所

に子供を出してゐる母親が來ますので、今申上げたやうな職業の人達であります。教育者、區役所の方方、區の警察署の方々、その他著名な方々を集めて通俗的な講演をして頂いてゐます。

裁縫夜學部といふのは、夜六時から九時までありまして、只今十二人の少女達が通學して居ります。

この邊では、女の子には十二三になれば、近所の料理店やカフェーに出すのが多く、其やうな少女達は、婦人として知つて置かねばならぬ色々のことを學ばず、たゞお化粧して浮薄に世を渡つてゆくのであります。私共はなげかほしい事と思ひ、小學校に未だ通つてゐる少女達や、夜分ひまな少女達を集めて、清らかな空氣にひたりながら、裁縫でもして歸へるといふやうにして始めたものでした。今この方の先生は、富豪の家庭に生れたが、色々の不幸から、信者になられ、一生をこの事業に捧げたいといふ方で、少女達の尊敬をうけて居られます。

無料診療部は、毎夜七時から九時迄で、大澤醫學士が獻身的に擔任し居られます。毎夜十五人ほど押しかけて來まして、中々の繁昌であります。

人事相談部は、今年になつてからやうやく始めた

のでありまして、毎日午前中相談に應じてゐます。昨日も数名の人々が見えましたが、いづれも求職がありました。

傳道部は主として私が致して居りますので、普通の教會と同じ事をいたしてをります。日曜日には、禮拜、日曜學校、祈禱會等いろ／＼して居ります。

一昨年當會館が開設以來、九人の方々が信者となられました。その中で、五回も牢獄に入つた方が、今では改心して、私と一緒に色々な事業に働いて居りますし、又二十五年間も大飲酒家で家庭の風波絶えないう男が酒をすつかりとやめ、豆賣りをして、月百圓の商をして、家庭圓滿に暮して居るのもあります。

私共の事業は不完全ながら、私共一同は、感謝しながら努力して居ります。こちらの方へ御出での時はどうぞ參觀なすつて頂きたいと思ひます。



# フレイベル巡禮

倉 橋 惣 三

## ○第一信 (ブランケンブルヒにて)

ワイマールにゲーテ、シラー、リストの跡を訪ねて、絢爛たる獨逸文化を想ふた日の夕方、私は永い間の舊知をおとづれる様な心持ちで、ブランケンブルヒに來ました。

ブランケンブルヒは、チューリンギヤ東部の景勝、シュルワルツタールに近く、シュワッサーの流れに沿うた古驛です。夏のシーズンには山林を追ふ旅客の多く來る處らしいのですが、今は霜に凍りついた、静寂な寒村の趣きです。著いたのは夜の八時半、停車場前の店の灯もない、がらんとして廣い路に、月が眞白に照らして居ました。「キングダーガルテンからお迎にしました。フレイベル先生はいづれ明日ゆつくりお目にかゝりますから、よろしくごいふお申しつけでした」チューリンギヤ風に頭から頬かむりでもした若い人が、斯ういひながら迎に出て居て呉

れたらなど、思つて見たりしました。(十二月十二日)

## ○第二信

けさは快よい晴天です。それだけに霜が一層白い。此の邊の霜は東京邊の霜と違つて、全く氷りついで居ます。路も野も雪の様に白く、ホテルの前の小川に沿うた枯木立は、幹も枝も玻璃細工の様に固く霜につままれて居ます。

先づ、フレイベルハウスを訪ねました。此處はフレイベルとは直接の關係のない、後の時代の設立ですが、フレイベルミュゼウムには澤山の貴重なフレイベル資料が集めてあります。それに、ベルリンのペスタロッツ、フレイベル、ハウスのドロシヤ女史から、先づこゝで、フレイベル巡歴のいろ／＼を聞いたがよからうごいふことを教へられて居ましたから、第一に訪ねる事にしました。

ミュゼウムの方には寫眞、手紙など、いづれも

奥深いものの中に「人間教育」や「母と子の遊び」の初版、それから、フレイベルの用ゐた古い恩物などは、最もなつかしいものゝ一つでした。こゝに幼稚園が附設してあります。私は急いでフレイベルの最初の幼稚園を見にゆき度いと思ひながら、此幼稚園の子供達のお相手で大分時間をとられて仕舞ひました。

フレイベル最初の幼稚園は、ブランケンブルヒの古い町を中心、マルクトプラッツに近い小路の奥の坂の下の様などころにあります。所謂「納屋の上の家」で下は納屋の入口になつて居る上の一室です。今は學校に使はれて、中を壁でしきつて二つの小さい教室になつて居ります。私はこの小さい古い、質素な室の中でいろ／＼のことを想ひました。フレイベルがその自發活動主義の教育を初めて幼児に適用した時の心持ちなども想ひました。こゝこそ今日、世界に擴がつて更に益々盛にならうとする、幼児教育の發祥地です。

午後は馬車でオーベルワイズバッハに行きました。シュワルツタールを経て二時間半程のところ、全くの山の上の小村です。村の中心の廣場になつた處に、高い教會堂があつて、その向ひの家がフレイ

ベルの誕生の家です。今も昔の通り牧師館になつて居て、フレイベルの父以來代々の牧師さんの住宅です。今の牧師さんのキルステン氏は、純撲な濃厚な人で私を迎へ入れて、懇にフレイベルの話をし、手紙その他の資料を見せて呉れました。此の家の後ろは墓地になつて山つゞきです。私はフレイベルの自傳で讀んだ彼れの幼時の事をさまざまに描いて見ました。フレイベルはほんとうの田舎子です。

歸りは夕日から月になりました。溪流は厚く凍つて居ます。毛布に膝をつゞみ、外套の襟を立てゝも耳は切れる様に冷い。人通もない谷の底の森の中を、馬は白い氣息を立てゝ走りました。(十二月十三日)

### ○第三信

(ブランケンブルヒにて)

きのふ、フレイベルミュゼウムで、私は大それた野心を起しました。それは、フレイベル當時の恩物を一箱分譲して貰ふといふのです。私は色々古い恩物を見てゐる中に、一種類重複したものゝあるのを見つけて、それを買ひ受けることは出来まいかと問ふて見たのです。六かしい話とは思ひながら、またとない機會、遠慮しながら言ひ出して見ました。そ

れは、お氣の毒ですが出来ないことでせうといふ返答です。私は、その恩物の古い箱を、手離しがてに見てみました。しかし、と案内の人は言葉をつぎました。しかし、私の一存では何とも御返事出来ません、こゝにもう一日滞在して居て下されば相談して見ませう。そして、此の「母子の遊び」もいつしよに相談して見ませうといふのです。これは、私が、さつき、「母と子の遊び」の初版の三冊あるのを、さもほしそくに繰り返しく見て居た、その心持を讀んで呉れたのでした。

私は、今朝、とてもとは思ひながら、もう一度ミエゼアムを訪ねて見ました。果して、恩物の方は譲り難いといふのです。しかし、「母と子の遊び」は一冊は此のミエゼアムに初めからあるもの、一冊は、寄贈者の名のあるもの、それはどうすることも出来ないが、もう一冊の方は、餘りたつてのお望みだから、といふのです。私は飛び立つ様の思ひで、譲つて貰ひました。豫て所蔵して居る新版のと餘り違つた處はありませんが、フレール自身に印刷させた初版といふのが、私には、限りなくなつかしいのです。私は此本を持つたまゝ、停車場の附近の橋の袂に

あるフレールベルの昔の住宅と林の中にある記念碑とを見て歸りました。

此の大きな獲ものをした午後、私はカイルハウへ行きました。きのふと同じ馬車の馭者君、もう一廉の教育研究者らしく、且那カイルハウのアンスタルトは立派ですよなどいふのも一興です。ブランケンブルヒの後の山を越えて一時間餘かゝります。此の峠のあたり、フレールベルが初めて「キンダーガルテン」の名を得た處かと、あてもなく思つたりして見ました。

カイルハウは思つたよりも更に小さい山あひの村でした。人口、二百、戸數八十といふことです。峠を下りて、目の下に此の村を見た時は、ほんたうに掌に入る様な小さな村でした。こゝにあるエルチーウングス、アンスタルト(兒童の教育所)はフレールベル以來つゞいて居るものです。所長の、ウエヒター氏は、懇に私を迎へて、いろいろの間に答へて呉れました。同氏の奥さんが、バロップの血つゞきといふのもなつかしいことです。こゝでフレールベルは人間教育」を書きました。彼の教育思想の爛熟した時といつていゝのです。ランゲタールも、ミッテンド

ルフも、パロップもここに居ました。アンスタルトの廣い食堂は、此の三人の結婚式を擧げた處です。折柄、クリスマス前の飾りのしてあるのも、私の心には格別のうれしきでした。

フレーベルの藏書、當時の子供達の製作品といふ様のもので澤山あります。「人間教育」の初版も數冊ありました。既に「母と子の遊び」の初版を獲た。私は、これがどうかして手に入れられないものかと、きりのない慾を起して見たのでした。

ウエヒター氏はどうも、それ程お望みならばお分してもよいが、實は非常に高價になつてゐるのですといふのです。價をいつて居る場合ではありませぬ。私は、此の紙の古い表紙のすゝけた一冊の本を抱きかゝへる様にして、その圖書室を出しました。

アンスタルトの窓から、キルシュ山が見えます。

ここには、ミッテンドルフ、ランゲタール、パロップ、その他、此のアンスタルトの昔からの先生方の墓があります。私は日の出のうすあかりを辿つて、其の墓地に詣りました。祝福すべき人々よ。身を獻げて、フレーベルを助けて呉れた人々の名に、永久の祝福あれ。(十二月十四日)

#### ○第四信 (アイゼナハにて)

「人間教育」の初版と、「母と子の遊び」初版と、それにフレーベルハウス出版の數書とで、小さい一包の荷物が出來ました、けふも、亦、眞白な霜の朝を、私は大事なその荷物を持つて、ブランケンブルヒを立ちました。

汽車一時間餘、スタットイルムの小さい停車場に著きました。私はここで、フレーベルが子供の時居た叔父さんの家と、子供姿で通つた學校とを見、更にグリースハイム迄行つて、フレーベルが兄さんの子を教へた、彼れの教育生涯の最初の家を見度いと思ふのです。

停車場の人に一寸訊いて見ると、グリースハイムの家の方は直ぐ分りましたが、スタットイルムの方はまるつきり見當がつきません。私は兎に角、村で一番古いホテルへ行つて見ました。私のついた食卓には、さつきから百姓らしい人が一人食事して居ました。私は此の人と、ホテルの主人とを相手にフレーベルのことを聞きました。矢張り、グリースハイムのことしか分りません。私はそれでは學校へ行つ

て見やうと言ひますと、ホテルの主人がそれよりも教會の先生の處の方がいゝ、昔のことは何でも御承知だからといふのです。私は此の時、ふと、フレールベルの叔父さんのホフマンも教會の牧師さんだつたことを思ひました。主人は、わざわざ、私を案内して、牧師館につれて行つて呉れました。

老牧師ダニエル氏は、私を書齋に導いて、きのふ丁度、日本のことを書いた本を読みましたよ、といつた風に打ち解けて呉れました。私が來意を、フレールベル巡禮に、チューリングヤを歩いて居るが、こゝだけは見當がつかないで困つてゐますといふと、此の家ですよ、ホフマンの住つて居たのは、此の家ですよ、といふのです。それから、此處は書齋ですから、子供のフレールベルは餘り來なかつたでせう。下の居間の方が幼いフレールベルの遊んだところでせう、といつて家中を案内して見せて呉れました。私は思ひがけないことに、人の家とも思はず、そこらのぞき廻りました。老牧師は私を玄關まで送つて、庭の方も御覽なさい。フレールベルが馳け廻つて遊んだのでせうよと、笑ひながら荒れた庭を指して見せました。フレールベルの通つた學校は、確には分りま

せんでした。しかし、あの自傳にある教會學校の位置は、大體此邊だらうと見當をつけて見ることが出来ました。

グリースハイムはスタットイルムから馬車で半時間程の小さい農村です。其の村の入口に近いところの家に、壁に大きな標札をかゝげて「フリードリヒフレールベル、此處に、獨逸教育の彼れの事業を初む。」と記してあります。此の家も、フレールベルの兄さん以來引きつゞき牧師館になつて居て、白髯のヘムレール氏は、今、小さい圖書室になつて居る室が、フレールベルが子供を教へた處だと教へて呉れました。そして、此の村はづれの、フォルスターハウスにも住んで居たことがあるから行つて御覽なさいと、いつて呉れました。私は直ぐ、そこへ行つて見ました。全く畑に近い古い百姓家です。可愛い五つ許りの孫を連れとおばあさんに、ここにフレールベルが居たのですかと聞いて見ますと、知りませんよ。牧師さんが、そう言はれましたか、私は頓と知りませんで、けいんな顔をして居ました。そして、私が寫眞をとつて居る間に私のつれて來た馬車の馭者に、此の人は、なんでこんな處を見に來なかつたのかね

と聞いて居ました。馭者の爺さんの答が面白いのです。古いものが好きと見えるね、ですと。

若いフレibelは此の家の一室でも借りて兄さんの家と、兩方に住つて居たものと見えます。若い半生の漂浪から、初めて教育に自分の天職を見出した、若いフレibelはこゝに居たのです。

再び、スタットイルムへ歸つて、夕方の汽車で、アイゼナハ迄來ました。リーベンスタインまで行き度いのですが、汽車の都合で、こゝに泊ることにしました。此處ではフレibelは別段の仕事もして居ませんが、幾度か通過し、また知人の家に泊つて居たこともあります。あの漂浪の生活中、落ちつかない心を抱いて、フランクフルト、アム、マインへ職を求めに行つて、圖らず教育といふものゝ興味に接した、彼れにとつては大切な旅にも、此の町を通つたのでした。

ホテルの明い手紙室で、私は此の通信を書きながら、當時の、若いフレibelのことが目に浮いて來ます。(十二月十五日)

## ○第五信

(アイゼナハにて)

アイゼナハは西部チューリンギヤ探勝の中心です。チューリンギヤ森林地帯の自然美を説くものは、多く此のアイゼナハ附近を以て第一に推します。更に歴史的にはマルチン、ルーターの町として近世史の第一頁を飾る土地です。ルーターが心血をそゝいで聖書翻譯の大事業を行ふた彼の有名なワルツブルヒの城も、こゝにあります。私は此の世界史の最大遺跡の一つに對して、絶大の尊敬を拂はずに居られません。しかし、それは此の通信のほかに屬しません。フレibel巡禮者として、先づリーベンスタインに急がなければなりません。

アイゼナハからマイニンゲン行き汽車に乗つて、インナルポーンで乗り換へると、數驛にして、マリエンタールに來ます。その次が此の線の終點で右リーベンスタイン、左シュワイナ、兩方の村の名を冠せられて居る小さい停車場です。私は此處へ來て、フレibel傳でいつもどうも、はつきりしなかつた、リーベンスタイン、シュワイナ、マリエンタールの地理的關係が始めて、よく分りました。

私は先づ、シュワイナの方へ降りて行きました。

昔からの工場地で、村そのものは別段風趣のある處

でもありません。私はその幼稚園を訪ねて見ました。之れは豫期して居なかつたところですが、リーベンスタイン、シュワイナ、マリエンタールを通じて今はたゞ此の一つの幼稚園があるのみといふことを路人から聞いて、先づ訪ねて見たのです。

此の幼稚園は村の學校の下の室を用ひて居る。フレーベル時代とは關係のないものでした。この或る大きな工場主であつた某男爵夫人によつて設立されたもので、いはゞ一種の工場幼稚園でした。しかし。此のフレーベルのシュワイナの幼稚園、しかも今はたゞ一つの幼稚園といふのが、私には、棄て難い興味をひきました。先生はいろ／＼幼兒の製作品などを見せて呉れながら、どうも經費が足りないで困る。町の人達が幼稚園といふものを、ほんどうに理解して呉れないで困る、といふ様なことを話して居ました。私はそうではない。今の獨逸は何處にも經費に困つてゐる爲めだと思ひました。私はフレーベルのお墓へ獻げる代りにと思つて、心ばかりの贈りものを、その子供等にして置きました。

私の見つけた馬車屋さんは、私のフレーベル巡禮の心持ちをよくも理解して呉れて、短い間に充分案

内して呉れました。十年前にこゝでフレーベル祭があつて、英、佛、米諸國のお客さんが澤山集つた時、その時も私が御案内しましたなど言つて居ました。

私はその時の記事をアメリカのキンダーガルテンレビューで讀んで、いつか自分も行つて見たいと思つたりしたことであつたのを思ひ出しました、其の時の記事にもあつた、フレーベルの直きの教へ子だつた人が、今も二人か此村に残つて居るそうですが、九十近い老病とかいふので、會はずに來ました。こんな譯で馬車屋さんは、いろ／＼よく案内して呉れました。フレーベルのお墓へゆく時など、十歳になるといふ可愛い娘を私の馬車に同乗させて、墓碑を案内させて呉れました。墓はシュワイナの山沿ひの墓地にあります。恩物の球と、立方體とを重ねた形の石の、紀念碑が建てゝあります。前には紙製の白菊の花などもありました。私が可なり暫らくの間、其の墓碑銘を讀んだり、石を撫したり、霜に凍る落葉を拾つたりして居る間、その馬車屋さんの娘は靜に立つて待つて居て呉れました。私は私のせめても心の心に小さい名刺をさゝげて歸りました。あとで其の娘に、フレーベルといふ人は、どういふ人か知つ

て居るかど聞いて見ましたら、えらい子供キョゴの友達です、と答へました。よくえらい教育者だといつて呉れなかつた。よく先生だといつて呉れなかつた。よく子供の友達といつて呉れた、私は餘りの嬉しさに、赤い毛糸の帽子の上から、ブロンズの軟い髪をなでゝやりました。

そこからマリエンタールへは小半路の近い處です。そこにマイニンゲン侯から貸し與へられたフレールベルの最後の家があります。之は相當立派な邸宅で、四圍のつくりも威嚴を持つたおやしき風です。私は此の家に於けるフレールベル晩年の思ひ出を一々こゝに記す暇を持ちません。フレールベルの名が世に知られて、多くの尊敬者の集つたのも此處です。熱心な若い人達がこゝに集つて、フレールベルの教育を受けたのも此處です。フレールベルの幼稚園運動史にとつて第一人者たるマレンホルツ、フォン、ビュウロウ夫人のフレールベルを識つたのも此處です。プロシヤの文部大臣によつて、つまらぬ誤解から、幼稚園禁令を出されたのも此の時です。此の大きな迫害と、それによつて益々強くなつた同情者の群との間に、花と、人と、子供と、神と、然りあらゆるもの

を愛すといひながら、我が老フレールベルの永き眠りに就いたのも此處です。

私は胸をおさへてその家の前を去りました。

路は小高くなつて、深い森林に入ります。その森林の一端に、墓地にあつたと同じ形の石の記念碑があります。こゝこそフレールベルが幼児達をつれて來ては遊んだところでした。「馬鹿ちいさん」のあだ名に村の人から(好意的に)呼ばれた程、毎日、己れを忘れて子供と遊んだところでした。私は、その森の中に立ち、森の外に立ち、遠く離れて森を見、近く寄つて落葉に据し、踊り上り度い様な、大きな聲で叫び度い様な、何とも形状し難い一種の狂喜を感じない譯にゆきませんでした。

森の幼稚園です。戶外保育です。自然幼稚園です。フレールベルの幼稚園を恩物だけに考へる人々に、一と目見せ度いのは此の丘の上の森です。私は春の日を想像して見ました、夏の日を想像して見ました。秋の日を想像して見ました、此處に青草の萌ゆる時を、こゝに小鳥の囀づる時を、こゝに木の實の落つる時を。而して、子供達の笑ふ晴やかな聲と、自由に走り廻る夾かな運動と、其の間に交り遊ぶ、保育



實習所の若い女生徒達と、それを、にこ／＼楽しさうに見てゐる、あの髪の毛長いフレールベルと、その上を高く被ふ此のチューリンギヤの清透な蒼空を想像して見ました。

私は、こゝでフレールベル巡禮記の筆を措きませう。幸福なる巡禮者は、こゝに宮殿なき宮殿を見出して、宮殿より大きな野と森とを見出して、巡禮最後の心からの喜びに充たされて居るのです。(十二月十六日)

(附記) 私は此のチューリンギヤに、まだ幾日でも居たい心がします。しかし、急しい旅の間に、その餘裕もありません。それに、伊太利の方の旅に出る豫定の日も、だん／＼近づいて來ます。明日、ルーテルの遺跡を訪ふた後、ライプチヒを経て、一旦ベルリンに歸らうと思ひます。此の通信も急しい間の手紙だよりで印象の十分の一も記すことが出來ません。何づれ歸つてから、ゆつくりお話する機會もあらうと思ひますし、そこゝで撮つた下手な寫眞も其の時お目にかげ度いと思ひます。たゞ、弱い冬の日で、

どれだけ、うまく撮れたかと、頗るあぶな  
かしく思つて居ます。

○編輯室より

倉橋主幹を横濱埠頭に見送つたのは、みぞれ降る大正八年十二月十三日でした。あれからもう二年餘も経ちました。過ぎてみれば短いですがお留守番するものにとつて、殊に初めの一年間は本當に長く思はれました。しかし、大戦後の世界を一巡なさる先生にとつては、この二年間も束の間であられたこと、思はれます。

今や先生をのせた熱田丸は日本へ日本へと走つてゐます。御出發の時にもました御元氣な姿を迎へる日も愈々近づきました。

○  
本會のため非常に御盡力下さつた湯原元一先生は、今回東京高等学校長に御轉任となり校務御多端のため、會長の職を辭され、本會は新任東京女子高等師範學校長茨木清次郎先生を會長にいたゞくと、なりました。前會長によつて著しく發展の機運にむかつた會の諸事業は、新會長の御就任ともに愈々その歩を進むること、存じます。

日本幼稚園協會役員

會長 茨木清次郎

主幹 倉橋惣三

評議員 乙竹岩造

棚橋源太郎

野口援太郎

槇山榮次

澁谷徳三郎

菅原教造

吉田熊次

田中ふさ

野口幽香

藤井利琴

日田権一

幹事 井村くに

和田實

高橋なか

向井琴柱

丸山千代

崎山茂

星野樂

和田くら

土川五郎

野間トヨ

小向きみ

新庄よしこ

坂田ミツ

梶原楢

長坂頼幸

黒瀬つや

小山ハナ

及川ふみ

田子一民

乘杉嘉壽

安井てつ

下田次郎

弘田長